

## 単元名 かたかなの がくしゅう

配当時間 3時間

- 単元の目標 (1) 平仮名と片仮名の字形や線の違いを理解し、書き順や点画（はね、はらい、とめ、折れ、曲がり）の書き方に気を付けて、正しく書くことができる。  
 (2) 平仮名と片仮名の字形や線の違い、片仮名の概形について考え、気付くことができる。  
 (3) 片仮名の書き方や字形に気を付けて、丁寧に書こうとする。

## 標準的な展開例

01020201\_001

【教材名】 レモン・カメラ／ロ・ユ・ト／ソ・ツ・ン・シ (P.22～P.25)

【準備等】 水書板、水書用紙、水書用筆、点線で四つに区切ったます目入りのシート又は黒板

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 片仮名の終筆（とめ・はね・はらい）や送筆（折れ・曲がり）に気を付けて、片仮名を書く。  ★書き方に気を付けて片仮名を書こう  ○『レモン』『カメラ』を試し書きし、課題をつかむ。  ○片仮名の終筆（止め・はらい）や送筆（折れ・曲がり）の書き方を確かめる。</p> <p>○『レモン』『カメラ』を練習する。</p> <p>○『レモン』『カメラ』をまとめ書きし、自己評価する。</p> <p>○教科書P.47～P.48の「かたかなの ひょう」から「はね」「はらい」「折れ」「曲がり」のある片仮名を探す。</p> <p>2 形の違いを理解して、片仮名を書く。  ★字の形に気を付けて片仮名を書こう  ○『ロ』『ユ』『ト』を試し書きし、課題をつかむ。  ○教科書P.23の文字を見て、片仮名のおおよその形について話し合う。</p> <p>○『ロ』『ユ』『ト』を練習する。</p> <p>○『ロ』『ユ』『ト』をまとめ書きし、自己評価する。</p> <p>○『ロ』『ユ』『ト』のつく言葉を書く。</p> <p>3 形が似ている片仮名の点画の方向の違いや、片仮名と平仮名の違いを理解して、片仮名を書く。  ★方向の違いや平仮名との違いに気を付けて書こう  ○『ソ』『ツ』『ン』『シ』を試し書きする。  ○教科書P.24の文字を見て、片仮名の画の方向の違いについて話し合い、確かめる。  ○『ソ』『ツ』『ン』『シ』を練習する。</p> <p>○『ソ』『ツ』『ン』『シ』をまとめ書きし、自己評価する。</p> <p>○『カ・キ・セ・モ・ヤ』を平仮名と片仮名で比べて、違いについて話し合う。</p> <p>○片仮名の言葉を探して書く。</p>	<p>・よい姿勢・鉛筆の持ち方の確認をする。</p> <p>・どの程度書けるか確認しておく。</p> <p>・書き方を言葉や動作で表現して理解を促す。</p> <p>「とめ」→びたっ 「はね」→びょん  「はらい」→すうっ 「曲がり」→ぐうっ  「折れ」→びたっ すうっ</p> <p>・水書用筆を使用して、終筆や送筆の感覚を体感できるようにするとよい。  【評】作品や自己評価を通して、片仮名の終筆や送筆に関する「知識・技能」を評価する。  【評】片仮名を探す活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>・形を図形や身近なものに例えさせ、イメージ化できるようにする。  【評】身近なものに例える活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・形の違いを意識できるように声掛けをする。  【評】作品や自己評価を通して、片仮名のおおよその形に対する「知識・技能」を評価する。</p> <p>・長音の書き方や拗音、促音を書く位置について説明し、確認をする。</p> <p>・書き順を空書で確認してから、試書させる。</p> <p>・教科書の赤い矢印の方向や、挿絵を活用し、理解を促す。</p> <p>・点画の方向を意識できるように声かけをする。</p> <p>・水書用筆を使用して、終筆のはらう感覚を体感できるようにするとよい。  【評】作品や自己評価を通して、片仮名の点画の方向の違いに関する「知識・技能」を評価する。</p> <p>・違いを児童の言葉で表現させる。</p> <p>・画数や書き順の違いにも気付かせる。  【評】話し合いを通して、平仮名と片仮名の違いに関する「思考・判断・表現」を評価する</p> <p>【評】片仮名の言葉を探して書く活動を通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する</p>

【 備 考 】